

# 公共料金

12月6日から26日まで定例市議会が開催され、公共料金の値上げ問題が争点となりました。



目録市民体育館

# 一部 値上げ案 継続審議に

— 12月市議会 —

## 保育料から火葬代まで



10月29日の「行財政改革推進本部」で「受益者と負担の公平」を理由に、公共料金いっせいで値上げの方針が決められ、12月議会にその第一弾が提案されました。総額で約2億8000万円の規模です。

## 使用料、幼稚園保育料は「継続審議」

このうち、プールや体育館、市民会館、勤労者会館、市民センター、スポーツグラウンドなどの使用料や幼稚園保育料については、各会派が一致して「継続審議」とし、次の(3月)議会で再審議することになりました。

また、市民病院の初診手数料加算金は、値上げ幅を半分に縮小(2倍化→1.5倍化で1575円に)することに決まりました。

## 手数料の値上げ決まる

— 日本共産党以外が賛成

印鑑証明・課税証明・被災証明・その他の証明などの手数料については、日本共産党は「公共料金が安い吹田のいい面をなくすべきでない。増税や物価高騰に追いついて、市民の生活や活動を圧迫すべきでない」と反対しました。

しかし、日本共産党以外の会派がすべて賛成したため、4月からの値上げが決まりました。値上げ幅は50%までです。

「行財政改革推進本部」の「基本方針」によると、4年ごとに見直す計画です。

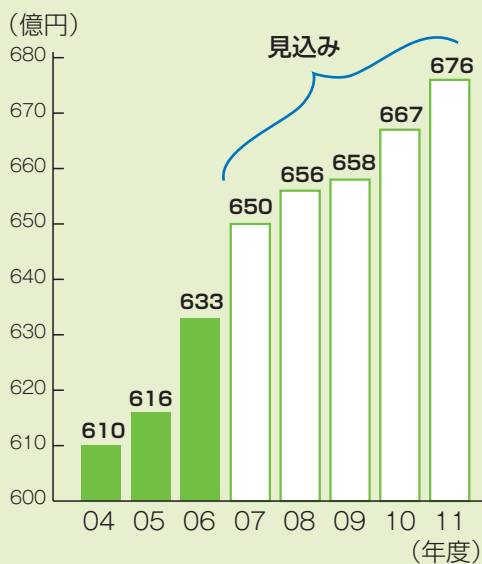
### 中止求める陳情あいつぐ

値上げ案に対し、中止を求める陳情があいつぎ、12月議会中だけで、3400筆をこえる署名が提出されました。

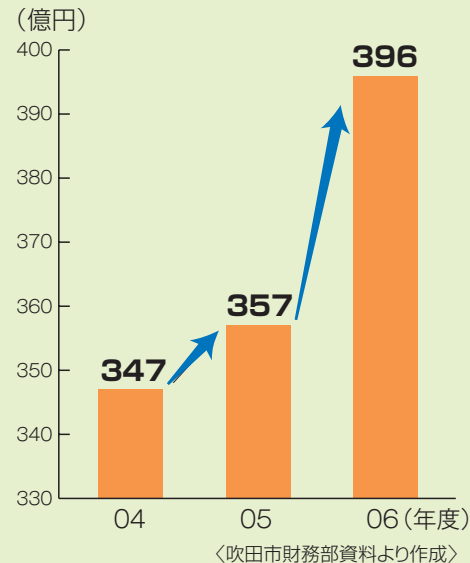
## 2006年度決算 黒字で 基金396億円にふやす (貯金)

10月22日から11月8日まで、前年度決算を審査する特別委員会が開催され、定率減税の半減などで、21億円の増税となったことが明らかになりました。今後5年間も増収の見込みです。また市の貯金である基金は、昨年1年間だけで40億円ふやし、396億円になりました。

### 市税収入の実績と今後の見込み



### 基金残高の推移



## 日本共産党が提案し、可決した 意見書

日本共産党が提案した、国に「最低賃金の引き上げ」と「食の安全と自給率向上」を求める2つの意見書は、いずれも修正の上、全会一致で可決されました。

## 請願

「千里山西4丁目1Kマンション建設反対に関する請願」は、全会一致で採択されました。

### 吹田市議会議員団



倉沢さとし議員



そろり邦雄議員



山根たかし議員



村口はじめ議員



竹村博之議員



塩見みゆき議員



柿原まき議員



玉井みき子議員

## 2008年度予算編成にむけ要望

昨年12月7日、日本共産党吹田市議会議員団は、党市委員会(あべ誠行府会議員)とともに、阪口市長と教育委員会委員長に対し、205項目の要望を提出し、その実現のための努力を求めました。

要望をまとめるにあたっては、11月20日に市内の30団体50人の方々との懇談会を開き、意見を聞きました。